

園内における手順の確認

園におけるフッ化物洗口の実施方法を確認します。

- ①実施方法及び実施時間
- ②担当者（洗口実施園責任者・薬剤購入者・薬液作成者）
- ③フッ化物洗口薬剤と薬液保管場所について
- ④器材の管理方法
- ⑤洗口を希望しない園児への対応について



〈職員説明会の様子 2〉

ステップ

3

保護者へのフッ化物洗口に対する理解

フッ化物洗口対象児（4～6歳）を持つ保護者を対象にフッ化物洗口への理解を得るために、園歯科医師等による説明会を開催します。

この説明会の中で、保護者からの不安や質問があった時には、正しい情報提供をすることが大事ですが、その際に、即答ができない場合は、後日調べて回答するようにしましょう。

保護者へは、この説明会終了後にフッ化物洗口の希望調査を行います。

また、保護者説明会を欠席したり年度途中の入園者には、園職員がパンフレットを用いて説明を行ったあとに希望調査を行います。

*参考書式 21ページ

保護者説明会開催内容

- ①園におけるむし歯の罹患状況や歯・口腔の健康の重要性について
- ②フッ化物洗口に関する基本的知識について
- ③フッ化物洗口の具体的な手順
- ④フッ化物洗口を希望しない園児への対応
- ⑤フッ化物洗口に関する薬剤及び器材の管理方法
- ⑥フッ化物洗口の体験



〈保護者説明会の様子〉

ステップ

4

フッ化物洗口に向けての準備

（1）実施回数の決定と1日の使用量

フッ化物洗口には、「週1回法」と「週5回法」があり、洗口液のフッ化物濃度が違います。保育園・幼稚園でのフッ化物洗口は、「週5回法」で実施し、一人1回の使用量は5～7mlです。

(2) 使用する薬剤の決定

フッ化物洗口に使用する市販の洗口剤は2種類あります。

下記の表や園児数、薬剤及び使用器材の価格等を参考にして、どの薬剤を選ぶか決めましょう。

フッ化物洗口剤と洗口液の作成方法

方法	薬剤名	フッ化物濃度	薬剤の量	水の量
週5回法	ミラノール® 顆粒 11%	250ppm	1包1g	200ml
	オラブリス® 洗口用顆粒 11%		1包1.5g	300ml

* ミラノール® 顆粒11%には、1.8g (1包:450ppm) もあります。

* オラブリス® 洗口用顆粒11%は、必ずオラブリス洗口専用溶解瓶を使用してください。

(3) フッ化物洗口の実施時間設定について

フッ化物洗口後30分以内に、うがいをしたり飲食物を摂ると、口の中に存在するフッ素が失われ、その予防効果が期待できなくなります。そこで、洗口後30分間は「うがい・飲食」をしない時間帯で、フッ化物洗口の実施時間を設定しましょう。

例) 給食のあとに、歯みがきをしてお昼寝の前に
おやつを食べて歯みがきをしてから

(4) 実施前の洗口練習と歯科保健指導について

対象児(4~6歳)の園児に対して、洗口を始める前に2週間程度、水道水を用いて「ぶくぶくうがい」と「吐き出し」の練習を行います。

「ぶくぶくうがい」の方法は、座って下を向き、洗口液全量を口に含み勢いよくぶくぶくしながら、上下左右すべての歯面に洗口液が届くよううがいをし、「ペッ」と吐き出します。

フッ化物洗口は、参加する園児が、飲みこまずに吐き出せるようになることが、一つの目安です。

「ぶくぶくうがい」は30秒~1分間ですが、この時間を守りながら楽しく行うには音楽CDやキッチンタイマーを利用しましょう。

洗口が上手にできずに、口に含んだ水を飲みこんでしまうような場合には、気長に練習を続けましょう。

また、歯科健診等に合わせて、歯科保健指導を実施してもらいましょう。



(5) 指示書の発行

園歯科医師は、園長と薬局の薬剤師への指示書を発行します。

この指示書は、毎年年度当初に発行します。

年度単位とすると1回の発行ですみます。

*参考書式 22・24ページ

(6) 器材等の購入

① 器材の購入

フッ化物洗口には、ディスペンサー付きの溶解ボトル、音楽CDもしくはキッチンタイマー、プラスチックコップ等の器材が必要です。

コップについては、園児が使用しているプラスチックコップでかまいません。

*20ページのフッ化物洗口器材準備リストを参照ください。

〈参考：洗口用器材の入手先〉

名称	財団法人 新潟県歯科保健協会	NPO法人 ウェルビーイング
住所	〒950-0982 新潟市中央区堀之内南3丁目8番13号 新潟県歯科医師会館内	〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目15-24 Well-Being BLDG 2F
電話	025-283-0525	092-771-5712
FAX	025-283-4746	092-741-8037
URL	http://niigata-dhs.com	http://www.well-being.or.jp
e-mail	ndhs@plum.ocn.ne.jp	jimukyoku@well-being.or.jp

② 薬剤の購入

使用する薬剤については、薬局から購入します。

購入する際は、園歯科医師が発行した「指示書」を持参します。

また、水に溶かす前のフッ化物洗口剤は、「劇薬」指定になるので、購入者の署名もしくは記名押印が必要です。 *決められた水量に溶かしたら「劇薬」には該当しません。

(7) 薬剤管理のための出納簿

フッ化物洗口の出し入れをする際は、出納簿にフッ化物薬剤を購入した日付と数(包)、購入者の押印、フッ化物洗口液の作成に使用した数(包)と作成者の押印、フッ化物洗口薬剤の残数を各々記入します。

*参考書式 26ページ

(8) フッ化物洗口剤の保管場所の決定

水に溶かす前のフッ化物洗口剤は、取り扱いに注意を要する劇薬なので、鍵のかかる戸棚での保管が必要です。

例) 職員室

フッ化物洗口モデル事業の実施園からの声として

- ★ぶくぶくうがいが上手になった。
- ★むし歯の無い園児は、むし歯の無いことに喜びを感じるようになった。
- ★洗口液を配付する際に、列を崩さずに並んで待つことができるようになった。
- ★クラス一斉に洗口を始めるので給食を時間内に食べられるようになった。
- ★職員や保護者の歯科保健への関心が高くなった。
- ★園における歯科保健や園児を取り巻く環境が改善されたり、園児の成長との関わりも大きいです。



2 フッ化物洗口に必要な薬剤・器材

《保育園・幼稚園での集団利用（週5回法）の場合》

薬剤

●ミラノール® 顆粒 11%



1 g 入りの黄色の袋で、1 包を200mlの水道水で溶かして使います。

〈参考価格〉

1 g 入り 180包 10,000円～

1 g 入り 90包 5,500円～



白い顆粒
です。

●オラブリス® 洗口用顆粒 11%



1.5 g 入りで、1 包を300mlの水道水で溶かして使います。

〈参考価格〉

1.5 g 入り 120包 5,810円～

器材

●ディスペンサー付きボトル



1 回押し3.5mlと5ml用のディスペンサー付きのボトルがあり、容量も500ml、600mlがあります。

* 詳細は入手先にお問い合わせください。

* フッ化物洗口用のボトルは、プラスチック製の物に限ります。

〈参考価格〉

ディスペンサー付きボトル 1本

1,050円～1,260円

●ミラノール® 顆粒 11%溶解瓶



ミラノール® 顆粒 11% 1 包 1 g を200mlの水道水で溶かす専用瓶です。キャップが計量コップになっています。

〈参考価格〉 1本 210円～

(平成22年度現在)

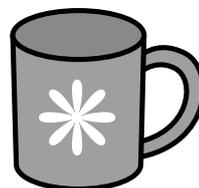
●オラブリス® 洗口用顆粒 11%溶解瓶



容量は300mlです。
向かって左側から薬剤と水を入れてボトル中央部のへこみを押すと右側から液量（5～10ml）が出ます。集団で使用する時は、コップに移し替えて使います。
*詳細は使用説明書をご覧ください。
〈参考価格〉
10本単位での販売で2,000円

コップ

使用するコップはプラスチック製のものに限りませ
園児が歯みがきの時に使用するプラスチックコップでかまいません。
また、洗口専用のコップも販売しています。
〈参考価格〉
洗口専用プラスチックコップ 1個 42円



音楽CD・砂時計・キッチンタイマー



洗口時間30秒～1分間の目安となり、音楽を利用することで楽しくできます。
〈参考価格〉
音楽CD 1枚 1,050円

参考

水のみでの対応の場合



フッ化物洗口を希望しない園児に対しては、水道水での対応になります。
同じボトルを準備して、しっかり区別しましょう。
洗口は、フッ化物洗口をしている子どもと同じように「ぶくぶくうがい」を30秒～1分間して、吐き出します。

(平成22年度現在)

3 フッ化物洗口にかかる経費について

フッ化物洗口は、安価な費用でできるむし歯予防方法です。

消耗品であるフッ化物洗口剤は定期的に必要量を購入しますが、ディスペンサー付きボトルや音楽CDは、初年度に購入すれば、長期間使用できます。

また、洗口用のコップも園児自身のものを使えば、費用を節約できます。

例) 2クラス合わせて50名の保育園児で、46名がフッ化物洗口を実施。

(うち4名はフッ化物洗口を希望せず)

フッ化物洗口は、週5回法でミラノール® 顆粒11% 1gと1回押し3.5mlのディスペンサー付きボトルを使用している場合

- ・週5回法 —————▶ 年間約250日の実施
- ・1人分の1回の洗口液量 —————▶ 7ml (2回押し)
- ・NPO法人ウェルビーイングのディスペンサー付きボトルと音楽CDを用いて、2クラスを時間差で実施
- ・コップは、園児が園で使うコップを使用
- ・給食後、歯みがきをしたあとにフッ化物洗口の実施

(1) フッ化物洗口液剤の必要量計算方法について

日数で算出する方法：

(実施園児数 × 1回使用量 × 1年間の実施日数) ÷ 200ml

例) 46名がフッ化物洗口を行うので、1年間(250日)に必要なミラノール® 顆粒11% 1gは、 $(46名 \times 7ml \times 250日) \div 200ml = 402.5$ 小数点切り上げで403包必要
* フッ化物洗口薬剤の価格は地域で異なりますので、取り扱い薬局にお問い合わせください。

(2) フッ化物洗口のための器材費用について

例) 器材は、ディスペンサー付きボトル(600ml)を実施園児用・希望しない園児用・予備用として合計3本と、音楽CD1枚を購入します。

- ・ディスペンサー付きボトル 1,260円 × 3本 = 3,780円
- ・音楽CD 1,050円 × 1本 = 1,050円

* 価格は税込みで送料については未計上です。

* 次年度以降は、ミラノール® 顆粒11% 1gのみの購入になります。

(平成22年度現在)

4 フッ化物洗口の手順について

手順	実際の様子	ポイント
1 洗口液の作成		<p>◎フッ化物洗口液を作成する場合は水道水*を使用します。 洗口剤と水を定量入れて、よく振って洗口剤をしっかりと溶かしましょう。</p> <p>◎ボトルの使い始めと最後は、空気が出たり、残量によっては正確な洗口液量が出ないこともあるので、注意と確認が必要です。</p> <p>*温泉水・ミネラルウォーター・アルカリ水での使用はできません。</p>
2 園児への配付	 	<p>◎クラス担任から、直接園児のコップに洗口液(5~7ml)を配付します。</p> <p>◎この時、園児のコップ*の中に水が残っていると、濃度が薄くなるので、コップの中を確認してから洗口液を入れましょう。</p> <p>*フッ化物洗口は、プラスチック製のコップを使用します。 ガラス製の物は、使用できませんので注意してください。</p> <p>◎配付の時は、園児の持つコップをノズル下に持ってくるようにしましょう。</p> <p>◎ボトルを園児のコップに傾けながらポンプを押すと正確な量が出ません。 ボトルを平な場所に置き、手でしっかりとポンプを押すことがポイントです。</p>
3 洗口		<p>◎給食やおやつ後に歯みがきをしてから、クラス担任の監督のもとで、クラス単位でフッ化物洗口を行います。</p>

手順	実際の様子	ポイント
<p>3 洗口と吐き出し</p>		<p>◎口を閉じて、やや前下方を向いた姿勢で全ての歯面に洗口液を行き届かせるように30秒～1分間「ぶくぶくうがい」を行います。</p> <p>◎園児にとっては、「やや下向き」の姿勢を理解しにくいので、クラス担任と一緒に洗口してもいいでしょう。</p> <p>◎この時、音楽CDやキッチンタイマーを利用すると正確に、楽しくできます。</p> <p>◎フッ化物洗口の洗口後は、園児のコップに洗口液を吐き出させてから、洗面所に流します。</p>
<p>4 片付けと洗口後の注意</p>		<p>◎洗口後30分間はうがいや飲食をしないようにします。</p> <p>◎コップは、中までしっかりと洗って乾燥させます。</p>
<p>5 消毒</p>		<p>◎ボトルは、ディスペンサーや計量カップをはずして、1週間に1回程度の割合で、水で洗浄してから約0.02%次亜塩素酸ナトリウム（キッチンハイター[®]・キッチンハイターキレイキレイ除菌&漂白・ミルトン[®]）に5分間浸して消毒しましょう。そのあと、しっかり水で洗い流して、乾燥させます。</p>